



春闘勝利荒地評訳大会に敢闘、準優勝の栄冠を獲得した選手たち

三池が準優勝飾る

敢闘した荒地評訳

第六回春闘勝利荒地評訳大会(選手名は別項記事)を含め、三月八日荒尾市の市役所前、午前十一時に市役所前を二客にス、全長約十九キロメートル、十二区、タートすると、途中松山、八幡、間をわたって盛大に開催された。参加は、三池労組代表チーム、そして最終点の運動公園にいたる尾地評の桃島事務局長はいう「

「今年は、少い組合員でありながら参加した組合が目立った。なにかでも九位となった市公通労組は、もとより組合員が少いという点、その日市営の競馬とかち合間、時間三十分四十七秒。これに、三池労組チームが一時、十四分三十分。わずか一分足らずの差に過ぎず、全選手よく敢闘したことを賞賛しなければならぬ。尾地の労働者の団結が前進したことを示している」

国際婦人デーの日固まる決意

国際婦人デーの三月八日、熊本で、八二年国際婦人デー、戦争への道を許さない女たちの集会、が約五百人の婦人を結集して開催されました。そして「戦争に反対し平和を守る」「婦人差別の撤廃」をめぐって闘争を固め、同市の上通り・下通りをデモ行進。市民にアピールしました。この日荒尾でも学習会が開催され、平和のため行動することを決意しましたが、次は三池主婦会の事務局から提供された手記です。

今こそ強める時

反戦・平和の運動を

○年八月二十六・二十七日、コペの不安にあえいでいました。右のシンパゲンで、第三回国際社会主義会議には十七カ国から代表が参加、婦人会議が開かれました。その時、母と子の保護に関する問題や、婦人参加権闘争の問題が審議され、人たちは、きびしい搾取と戦争へ、国際婦人デーと、平和闘争の

ために、という二つの動議が決議され、あの有名な国際婦人デーの呼びかけは、クララ・ツェトキンによって書かれ、ゲーテ・ドワンカ、ほか女性同志とともに提案されたといわれています。

一九二一年の第一回国際婦人デーは三月十九日、五カ国で行なわれていました。ロシアでは一九二七年三月八日、「国際婦人デー」を政治ストライキで祝おう」と呼びかけたのにこたえて、デモが組織され、一日九万人の男女労働者がストライキを行ない、やがてあの三月革命へと高揚していきました。今、国際婦人デーは、三月八日に、毎年世界じゅう無数の労働婦人・主婦が示威行動に結集しています。

短歌 師走の街

職場二十分会 町 佳郎

つねよりも早く来し寒さに下着一枚重ね着けと出たせり妻の真陽浴びて遊び疲れしこともなしみたり子よ雨多く寒かりし夏ひとしきり空に舞いたる初雪の外(と)に出れば間なく降り終りたり

末の子はしかりにかりて苦しむを看(み)とりしこともこの夏のこと

どうする植え替え

植木手入れの好期

春の彼岸も近まり、各種盆栽の植え替え時期となりました。植えこむ二日前から水を切らしておくと、古土がよく払い落とせ、若木はできるだけ古土をほぐして植えこむ用土も乾き気味の用土で、植えこむと、土が根に十分密着、りつめ、平均して根を出せるようになります。水をやるときは、土が乾ききり、水がたまりやすくなり、しはらばらけ直日光を避けて管理して、芽立ち前の今がせん定期です。新芽に花が着きますが、思いきって切りこむと、花が落ち、もろく、根を思ひ通りにつくることを念



園芸 二十一分会(三)川(田)勇記

暖い日は、消毒も欠かせませぬ。いっしょに解決しよう、濃過ぎる液は花芽や新芽をいためますので、あまり多く与えない。梅の花の便り、植木市など、植木に接する機会が多いときです。見ることと腕に力をかけ、またたき、知ったふりしないでよく聞くことです。技術をねらいましょう。